

おいしそうにカレーを食べる高木保育園の園児たち



手作りランチでおもてなし

高木学童保育カレーパーティー

高木学童保育「うさぎクラブ」で8月4日、夏休み恒例のカレーパーティーが開かれ、高木小学校の先生や高木保育園の年長児などが招待されました。`お客さま、を児童たちが招待席へとエスコートして、高木小1年の西山朱菜さん(高木)が児童代表で、「どうぞ、召し上がってください」と歓迎のあいさつ。出来立ての美味しいカレーと一緒に食べながら和やかなひとときを過ごしていました。同小2年の藤田大寛くん(高木)は、「(カレーが)すごく美味しいです。だけど、今夜は家でカツカレーの予定。おかわりはやめておきます」と話してくれました。

地域でつながろう

高木親子ふれあい祭り

高木保育園(長野英子園長、59人)で7月18日、親子ふれあい祭りが行われ、園児や地域住民約150人が参加してにぎわいました。これは、保護者間の親睦や地域との交流などを目的として、今年で2回目。浴衣姿の園児や地域住民が金魚すくいや的当てなどを楽しみました。またお楽しみ抽選会も行われ、番号が読み上げられるたびに会場からは歓声が上がっていました。祭りのフィナーレには花火が打ち上げられ、家族で夏の夜を満喫していました。また地域の住民にとっても毎年楽しみの行事の一つになっているようです。



わたがしを注文して楽しみに待つ子どもたち

郷土の誇り高き志士を偲ぶ

宮部鼎蔵供養祭

幕末の志士として名高い郷土の先哲「宮部鼎蔵」を偲ぶ供養祭が7月6日、上野地区の鼎春園で地元住民など約100人が出席して行われました。これは、地域住民でつくる宮部兄弟顕彰会(川部寅男会長)が毎年開いているものです。鼎蔵は、上野地区茶屋本出身で、肥後勤王党の総帥。尊王攘夷の信念を志し活動に奔走のさなか、元治元(1864)年6月5日に京都池田屋で会談中に近藤勇率いる新選組の襲撃をうけて自決し、45歳で生涯を終えた幕末の人物。供養祭では、神事と京都池田屋の最期を表現した吟や舞が奉納。川部会長は、「宮部(鼎蔵)先生は上野の誇り。後世に伝えていくことが私たちの使命である」と話されていました。

このほかにも、郷土史家の奥田盛人さん(七滝)の話なども行われました。

鼎蔵が京都池田屋での最期を表現した舞



御船REX2つの部で3位入賞

吉無田サッカー大会

キッズ・ジュニアサッカー大会(6人制)が7月4日と5日の両日、吉無田高原で開催され、県内から59チームが参加して各部で優勝を目指しました。青少年の健全育成や同高原の観光推進を目的として、今大会で8回目。御船町から唯一の参加チーム「御船REX」は、地元開催のひととき大きな声援を背に、1年生午後の部と、3年生午前の部が3位入賞を果たしました。

▼成績(1位のみ紹介、カッコは参加チーム数)

- ・年中&年長 (6) / ソレッソ年長
- ・1年生午前の部(10) / FC Vispo パルセロナ
- ・1年生午後の部(6) / FFC Vispo エスパニョール
- ・2年生 (15) / ソレッソ2年N
- ・3年生午前の部(12) / 小川JSCドラゴン
- ・3年生午後の部(10) / FCウイングスU-9



相手3人をドリブルで振り切る御船REXの竹坂悠汰選手(嘉島町・右)

役場玄関前で行われた出発式



犯罪のない社会を応援します

上益城地区保護司会啓発パレード

7月10日、上益城地区保護司会御船分会(浦田博会長)と御船地区厚生保護女性会(金澤順子会長)の会員31人が参加して、御船警察署管内(御船、甲佐、嘉島、益城)で「明るい社会づくり運動」の啓発パレードを行いました。これは、犯罪や非行の防止、罪を犯した人の更生への理解、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。御船町役場で行われた出発式では、森英介法務大臣と蒲島郁夫知事からのメッセージを浦田会長から山本町長に手渡し、協力を依頼した後、車に分乗して各地を巡回しました。

農地の再生をはじめました

耕作放棄地再生モデル事業

高木小学校(北森光代校長、130人)の3・4年生39人が7月6日、高木地区上高野にある畑約8畝を利用して大豆の種まきを体験しました。これは、町農業委員会(宮本力会長)が耕作をしなくなった農地の再生などを目的としたモデル事業です。児童たちは網に沿って、横30センチと縦80センチの間隔で筒状の棒を使いながら大豆の種まきに汗を流しました。同小4年の木村名伶さん(高木)は、「(大豆の)種を入れすぎないように気をつけた。家でも野菜作りの手伝いをがんばりたい」と話していました。



網に沿って横一列に並び大豆の種をまく児童たち